

様式第6号（第6条関係）



平成 27 年 4 月 30 日

(宛先) 安曇野市議会議長 宮下 明博

会 派 名  
代表者氏名 林 孝彦  
経理責任者氏名 林 孝彦



平成 26 年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成26年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
政務活動費	37,500	7,500円×5か月
合 計	37,500	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
調査研究費	19,640	調査研究（平成27年3月25日、宇治市役所） JR代19,640円（6,260円＋1,080円＋2,480円＝9,820円（片道）×2）
研修費	3,340	研修会（平成27年3月14日、長野市生涯学習センター） タクシー代1,400円（片道）、 JR代1,940円（往復）
資料作成費	5,450	資料印刷費5,712円→5,450円（充当分） インクカートリッジ代4,920円（12,302円×0.4（政務活動分として））、 プリント用紙代792円（1,980円×0.4（政務活動分として））

資料購入費	8,770	図書 書籍代 8,770 円 (1,080 円 + 1,620 円 + 1,620 円 + 1,620 円 + 886 円 + 1,944 円)
事務費	300	事務用消耗品費 ボールペン代 300 円 (752 円 × 0.4 (政務活動分として))
合 計	37,500	

2 収入支出差引残高 0円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	京都府宇治市の認知症の取り組みについての調査研究	
活動区分	①調査研究	
活動の目的	京都府宇治市の認知症の取り組みについて学び、安曇野市の福祉向上の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 27 年 3 月 25 日 (水) 午後 2 時 20 分から 午後 3 時 40 分まで
	研修先・主催者等	京都府宇治市役所健康福祉部健康生きがい課・藤田佳也次長
	報告内容・実施したこと。	<p>サンデー毎日 2015. 1. 4・11 の記事「認知症になっても「安心」の街」で、「認知症にやさしい街」5 つの中に京都府宇治市が挙げられている。「当事者を主人公に据えた認知症施策で知られる京都府。本人目線で 10 項目に表現した「アイ（私）メッセージ」を盛り込む。中でも宇治市は早期診断・早期対応を具体化させた「初期集中支援チーム」や「認知症カフェ」が起動している。」とある。</p> <p>調査研究のために、平成 27 年 3 月 25 日（水）に宇治市役所健康福祉部健康生きがい課の藤田佳也次長を訪ね、資料をいただき、説明を受けた。</p> <p>宇治市では、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「宇治市認知症初期集中支援チーム」を設置した。複数の専門職が家族の相談等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、生活のサポートを行うチームである。専門医、社会福祉士、保健師、看護師、作業療法士等の医療保健福祉に関する職員で構成され、2 チームある。</p> <p>また、宇治市では、認知症の方やそのご家族、または認知症の不安のある方や地域の方などが気軽に集えるカフェとして「れもんカフェ」を市内 6 か所で行っている。認知症についてのお話、ミニコンサート、カフェ・交流タイムなど。カフェの終了後には専門職スタッフによる個別相談の時間がある。</p>

		<p>また、山本正宇治市長が 2015 年 3 月 21 日開催の「認知症フォーラム in 宇治」において、「認知症の人にやさしいまち・うじ」を宣言した。</p> <p>なお、「宇治市の認知症の取り組みについて」、『認知症の人にやさしいまち・うじ みんなで認知症サポートブック』、「平成 23 年度版宇治市 もの忘れ連絡シート」、『平成 23 年度宇治市認知症ケアネットワーク 事例集 支援困難と感じたときのヒントに…』などの資料は有益。</p>
	<p>まとめ（感想・市政に活かせること等）</p>	<p>宇治市の先進的な認知症の取り組みを参考にし、安曇野市の認知症の取り組みを向上させたい。そして、安曇野市の福祉向上に貢献したい。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	婚活サポーター講習会および結婚相談情報交換会での研修	
活動区分	②研修	
活動の目的	長野県が実施する「婚活サポーター」制度を理解し、結婚相談への対応や個人情報保護など、必要な知識を習得し、安曇野市での結婚支援・婚活促進の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 27 年 3 月 14 日（土） 午前 10 時 30 分から 午後 3 時 30 分まで
	研修先・主催者等	長野市生涯学習センター（トイゴウエスト）・長野県県民文化部次世代サポート課次世代企画係、講師：滝沢ゆきこ Plus ai（ぶらすあい）代表
	報告内容・実施したこと。	<p>婚活サポーター講習会および結婚相談情報交換会において、必要な知識を習得した。</p> <p>婚活サポーター講習会において：</p> <p>未婚化・少子化の現状では、生涯未婚率の上昇、合計特殊出生率の低下のため、「結婚・妊娠・出産・育児」の切れ目ない支援の充実・強化の早期実現を目指し、出会いの機会や育児・出産環境等において、それぞれの地域の実情に即した支援の必要性が求められている。</p> <p>未婚者の状況および傾向では、18歳～34歳までの未婚者の約9割が「いずれ結婚するつもり」（厚労省調査）。昔にくらべて簡単にできなくなっている。昔より本人の心理的な孤立感は希薄。未婚のままでも特に困ることはない。</p> <p>未婚の主な原因では、コミュニケーション能力の低下、出会いの機会がない、ライフスタイルおよび時代にもなう結婚観の変化、経済的不安、仕事と家庭の両立不安、親子問題、が挙げられる。</p> <p>サポーターとしての心がけでは、人間味あふれるサポート、柔軟な対応、境界線を意識、機会づくりやチャンスの提供、提案やさりげない後押し、聞き上手を意識したコミュニケーションや言葉がけ、本人に託す方向、個人情報や人権保護への配慮、が挙げられる。</p>

		<p>考察では、従来と違う生き方や結婚観を理解すべき。できるかぎり適正な時期を逃さないような配慮が必要。結婚生活が末永く継続するためのサポートを心がける。</p> <p>結婚相談情報交換会において：</p> <p>婚活サポーター同士の結婚相談情報交換会を見学した。一定の時間で一斉にローテーションをして情報交換を行っていた。実際の結婚マッチングの様子がわかった。</p>
まとめ（感想・市政に活かせること等）		<p>長野県の婚活サポーター講習会および結婚相談情報交換会を参考にし、安曇野市での結婚支援・婚活促進を図りたい。元気なまちづくりのために婚活を応援したい。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政務活動に関する資料作成	
活動区分	③資料作成	
活動の目的	政務活動のために資料作成をする。	
活動の概要	報告内容・実施したこと。	政務活動のために資料作成をした。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	政務活動のために作成した資料を活用し、安曇野市政に役立てたい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政務活動に関する資料購入	
活動区分	④資料購入	
活動の目的	政務活動のために資料購入をする。	
活動の概要	報告内容・実施したこと。	<p>政務活動のために資料購入をした。</p> <p>図書 書籍6冊</p> <p>『トンデモ地方議員の問題』 相川俊英 ディスカヴァー携書 見えにくい地方議員の実態を明らかにし、報酬や活動内容、議員のタイプなどを紹介するとともに、数少ない好例や新しい動きも取り上げた。「地方創生」は、国主導ではなく、住民主導で取り組むべきものだ。</p> <p>『市議会議員に転職しました。ビジネスマンが地方政治を変える』 伊藤大貴/遠藤ちひろ 小学館 地盤も看板も靴（お金）もないけど、ビジネス経験を活かして、上位当選を果たした若手議員からの政治家への転職のススメ</p> <p>『国に頼るからバカを見る 反骨の市町村』 相川俊英 講談社 お仕着せの政策とばらまかれる補助金では地方創生などできない！住民が悪条件に負けず、反骨精神と柔軟なものの考え方を持って主体的に活動することによって生き生きと輝く地域に創り上げたところがある。タリキ（他力）ノミクスでダメになった日本をよみがえらせるのは、他でもない、住民主導によるジリキ（自力）ノミクスである。</p> <p>『神山プロジェクト 未来の働き方を実験する』 篠原 匡 日経 BP 社 徳島県神山町。山深いこの町に、若きクリエイターや起業家が集う。なぜ徳島の片田舎に若者たちが吸い寄せられるのか。新しい働き方、クリエイティブを生む場づくり、地域再生の方法</p>



		<p>論、不確実を楽しむ生き方―。現代の日本人が抱える課題の答えがここにある。</p> <p>『地方消滅』 増田寛也 中公新書</p> <p>このままでは 896 の自治体が消滅しかねない―。減少を続ける若年女性人口の予測から導き出された衝撃のデータである。若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少社会に突入した。多くの地方では、すでに高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増してゆく。豊富なデータをもとに日本の未来図を描き出し、地方に人々がとどまり、希望どおりに子どもを持てる社会へ変わるための戦略を考える。</p> <p>『私の地方創生論』 今村奈良臣 農山漁村文化協会</p> <p>著者が 23 年前から提唱してきた農業の 6 次産業化の理論とその実践の成果を踏まえつつ、新たに、アグロ（農）、フード（食）、エコ（景観と生態系）、メディコ（医療・介護・子育て）、カルチャ（文化・技能）の各拠点（ポリス）から成る「5 ポリス構想」による地域創生を、多様な実践事例を紹介しつつ提起。傘寿を迎えた著者渾身の書！</p>
	<p>まとめ（感想・市政に活かせること等）</p>	<p>政務活動のために購入した資料を活用し、安曇野市政に役立てたい。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政務活動に関する事務	
活動区分	⑦その他	
活動の目的	政務活動のために事務を行う。	
活動の概要	報告内容・実施したこと。	政務活動のために事務を行った。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	政務活動のために事務用消耗品を活用したい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。